

MotoGP rd.10 CARDION AB GRAND PRIX CESKE REPUBLIKY
MORIWAKI RACING RACE REPORT**Moto2 class**

エリアス今季4勝目を達成。この優勝でモリワキは、コンストラクターズポイントで2位以下にリードを広げる。

後半戦のスタートとなった第10戦チェコGP (Moto2クラスは第9戦アメリカGPがないためにレースでは第9戦目となる)は、前戦ドイツGPの好調をキープしたT・エリアス (Gresini Racing Moto2) が、2戦連続、今季4勝目を達成した。

今大会は、「Gresini Racing Moto2」チームが、テスト禁止期間中の夏休みに、エリアスのテストを実施したため、初日のフリー走行を禁止されるというペナルティを科せられた。これは、チームがルールを完全に把握していなかったミスだが、エリアスにとっては、厳しいスタートとなった。

しかし、ブルノを得意とし、過去2年、MotoGPクラスで表彰台に立ち続けているエリアスは、今大会初走行となった2日目のフリー走行でトップに浮上。午後の予選でも、「最後のアタックでシフトミスがなければPPを獲れたと思う」という走りでも3番手。カタルーニャGPから3戦連続、今季6回目のフロントローを獲得した。

決勝もオープニングラップ2番手と好スタートを切り、序盤の混戦の中で一時7番手までポジションを落としたが、中盤からは快調にラップを刻んだ。トップに立った13周目からは、後続をジリジリと引き離す好走。20ラップのレースで真っ先にチェッカーを受けた。この表彰台でGresini Racingは、通算100回目の表彰台を獲得。表彰台に立ったF・グレッシーニ監督も感激していた。

この優勝でモリワキは、コンストラクターズポイントで首位をキープ、2位のスーターとの差を30点とし、念願のタイトル獲得に向けて、一步前進した。2位には高橋裕紀 (TECH3)。3位にはA・イアンノーネ (SPEED UP)。エリアスは、この表彰台で総合2位に浮上したイアンノーネに55点のリードを築いた。

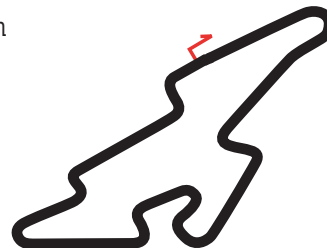
前半戦8戦を終えて総合2位だったルティ (Interwetten Moriwaki Moto2) が、予選13位、決勝11位と苦戦した。シーズン中盤戦のイギリス、オランダ、カタルーニャと続いた3連戦で3戦連続表彰台に立ち一気に調子を上げていたルティだが、前戦ドイツGPで転倒リタイヤしてやや調子を崩した。夏休み明けの今大会は、オランダGP後に行った鎖骨の手術も完治、万全の体調で挑んだが、リズムに乗れなかった。今大会総合3位へと、ひとつポジションダウンも、後半戦の巻き返しに期待される。

前戦ドイツGPで今季ベストリザルトの4位でチェッカーを受けたニエト (Holiday Gym G22) は、今大会初日のフリー走行でトップタイムをマークして好調なスタートを切った。2日目の予選では大混戦の中で12番手。決勝ではオープニングラップ7番手とトップ集団に加わったが、最終的に13位と悔しい結果に終わった。

以下、シメオン (Holiday Gym G22) が予選35位から追い上げのレースをして19位。イワノフ (Gresini Racing Moto2) は予選26位、決勝27位。ゲーラー (Holiday Gym G22) は予選40位、決勝33位。予選25位のペシエック (Matteoni GP Racing) はリタイヤに終わった。

[Automotodrom Brno Circuit]

LENGTH 5,403m



MotoGP rd.10 CARDION AB GRAND PRIX CESKE REPUBLIKY MORIWAKI RACING RACE REPORT

●T・エリアス(1位)

「優勝したときはいつも嬉しいけれど、今回の優勝は格別だった。金曜日のフリー走行を走れず、スタートでつまづいたからね。しかし、土曜日の予選では、シフトミスさえなければPPを獲れたと思うし、決勝ではこうして優勝することが出来た。スタートは良かった。その後、序盤はちょっと順位を下げてしまったけれど、イアンノーネが抜いていったときにスイッチが入った感じだった。今日は2位に高橋裕紀が入ってくれて、チャンピオンシップでも、イアンノーネにリードを広げられて良かった。今回の優勝は、チーム全体が頑張ってくれたお陰。心から感謝している。この優勝がチームにとって100回目の表彰台になったことも嬉しい」

●トーマス・ルティ(11位)

「初日のフリー走行は、久しぶりの走行としては気持ち良く乗れた。今回はいいレースになると思ったのだが、そこからタイムアップしていけなかった。2日目の予選、決勝と、セッティングが決まらないだけでなく、セットアップの方向がなかなか見いだせず、いろいろやってみたのだが、それが余計に混乱する結果となってしまった。とてもトップグループで戦える状態ではなかったし、残念なレースだった」

●F・ニエト(13位)

「初日のフリー走行でトップタイムをマークして、今大会は良いレースが出来るだろうと確信していた。セッションをこなす毎にバイクの状態は良くなっていたが、決勝では、どういうわけか、トラブルが発生し、苦しいレースになってしまった。しかし、次戦に向けて手応えあるレースになったし、インディアナポリス、ミサノといいレースが出来ることを期待している」

●X・シメオン(19位)

「初日の走行はまずまずだったのだが、それからペースを上げて行こうとするとタイヤのグリップを出すのに苦しんだ。予選も決勝もそれは変わらず、良い状態を見つけられなかった。予選35位という苦しいグリッドだったが、もう少しでポイント獲得だったし、残念なレースだった」

●V・イワノフ(27位)

「3日間を通じて、思い通りの走りが出来なかった。ドイツGP同様、今大会もポイント獲得を目標にしていた。ブルノは好きなサーキットだったので悔しい。今回はコンディションが不安定で、セッティングをまとめ切れなかった。トニの優勝とチームの100回目の表彰台を祝福したい」



MotoGP rd.10 CARDION AB GRAND PRIX CESKE REPUBLIKY MORIWAKI RACING RACE REPORT

RESULT

Qualifying

POS	No	RIDER	TEAM	TIME
3	24	Toni ELIAS	Gresini Racing Moto2	2'03.741
12	10	Fonsi NIETO	Holiday Gym G22	2'04.602
13	12	Thomas LUTHI	Interwetten Moriwaki Moto2	2'04.605
25	52	Lukas PESEK	Matteoni CP Racing	2'05.486
26	61	Vladimir IVANOV	Gresini Racing Moto2	2'05.517
35	19	Xavier SIMEON	Holiday Gym Racing	2'05.906
41	88	Yannick GUERRA	Holiday Gym G22	2'07.711

RACE

POS	No	RIDER	TEAM
WIN	24	Toni ELIAS	Gresini Racing Moto2
11	12	Thomas LUTHI	Interwetten Moriwaki Moto2
13	10	Fonsi NIETO	Holiday Gym G22
19	19	Xavier SIMEON	Holiday Gym Racing
27	61	Vladimir IVANOV	Gresini Racing Moto2
33	88	Yannick GUERRA	Holiday Gym G22

Not Classified

No	RIDER	TEAM
52	Lukas PESEK	Matteoni CP Racing

Fastest Lap (New record)

No	RIDER	TEAM	TIME
24	Toni ELIAS	Gresini Racing Moto2	2'04.315

World Championship Classification

RIDER POINT RANKING

POS	No	RIDER	POINT
1	24	Toni ELIAS	161
3	12	Thomas LUTHI	99
12	10	Fonsi NIETO	41
27	19	Xavier SIMEON	9
29	52	Lukas PESEK	4
30	61	Vladimir IVANOV	2



CONSTRUCTOR CHAMPIONSHIP
MORIWAKI MD600 RANKING / TOP

TOTAL OF 3 PAGE(S) INCLUDING THIS ONE